

○5番（瀧野良枝） 確かに今、現況届を提出する時期ではありますので、保護者の方と顔を合わせる機会が多いというところで、より多くの意見を吸い上げていただければと思います。

ワークセンターについては、多くの人から注目され、また期待されている存在でありますので、今後さらなる充実を進めていただきたいと考えております。質問は以上でございます。

○議長（清水満） 瀧野議員、ご苦労様でした。

暫時休憩に入ります。再開は10時5分をお願いします。

休憩 午前 9時53分

再開 午前10時 5分

---

◇ 渡 邊 千賀雄

○議長（清水満） それでは休憩前に引き続き会議を再開します。一般質問を続けます。

発言順位7番、議席番号12番、渡邊千賀雄議員を指名します。渡邊千賀雄議員。

〔12番 渡邊千賀雄 登壇〕

○12番（渡邊千賀雄） 議席番号12番、渡邊千賀雄です。質問通告により順次質問いたします。

最初に、行政施策の進捗状況と併せて今後についてということでお伺いいたします。

1点目は、役場庁舎の建設についてお伺いいたします。町民の関心の高い案件であり、町としても合併後の大きな事業であり、自治行政の拠点としての庁舎建設であります。私も議会で度々取り上げてきました。1月末には基本設計を明らかにし、町民に説明していくとしておりましたが、実施になりませんでした。また、3月議会では再度、建設委員会に諮り、研究していきたいと表明しておられました。その後の研究の内容、そしてまた結果はどうなったかについて課長にお伺いしたいと思います。

○議長（清水満） 原総務課長。

〔総務課長 原章胤 登壇〕

○総務課長（原章胤） その後の研究結果はどうなったかということでございます。昨日の石川議員の質問にもございました。基本的に今あります現庁舎、それと隣にあります旧庁舎、これ

を両方解体して更地にし、建て替えるというプランも設計業者さんの方で一応考えてもらって、プランを検討してまいりました。

結果でございます。基本的には4点を中心に据えて研究してきた経過がございます。

まず1点目は、分庁方式を解消していく。

2点目は、庁舎に掛かる建設事業費でございますが、今現在の少子高齢化の中で、やはり庁舎に係る経費を青天井で掛けるわけにはいかないということで、10億円を目途に考えていくということでございます。

そして、建設場所はこの牟礼庁舎であるというところでございます。

それと4点目でございますけれども、災害時に業務を継続していかなければいけない。

この4点の基本目標に沿って研究をしてみたい経過がございました。そんな中で基本的には財政面。これを考えると、やはり更地にして建て替えは厳しいものがあるということで、5月に庁舎建設委員会を開催いたしまして、この現牟礼庁舎を改修していくとともに、南の駐車場を利用いたしまして、新たに別棟の庁舎を建てていく。それで、この牟礼庁舎と別棟の庁舎を両方利用していくということでございまして、新たな庁舎につきましては建築基準法の日照の関係でございますので、3階建てはなかなか周りの住宅に及ぼす影響度が大きいので、2階建ての庁舎ということで建設検討委員会にお諮り申し上げ、基本的には間取り等々の問題もございまして、今後の検討ということで、基本的にはその方向で了承いただいております。以上でございます。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） 今、経過と留意点、重点的なことを述べられました。そのことに沿って、話が進められていると思いますが、そうした設計計画、設計書はいつ明らかになり、また町民、我々に発表できる状態になるのか、この辺もお聞きしたいと思います。

○議長（清水満） 原総務課長。

〔総務課長 原章胤 登壇〕

○総務課長（原章胤） 基本設計、設計書でございますが、昨日も石川議員の質問にもございま

した。やはり、牟礼庁舎に建設するということになりますと、旧庁舎の問題が絡んできます。ですから、旧庁舎の問題も含めて総合的に考えていかなければ、住民説明というのはまだ持てないのではないかとということで、この旧庁舎の耐震性、劣化度、この調査を踏まえて、例えば保存していくにはどの程度掛かるのか、また庁舎の利用の関係についてもまた協議していかなければいけない。そういう一定の資料が整った段階で、住民説明会と言いますか、報告会を兼ねまして、全体を併せて基本設計に入っていくのだらうということで、やはり旧庁舎との絡みが第1になってくるかと思っています。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） 旧庁舎との絡みは分かりますが、時期的には明示できないということですか。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） 調査には、1か月ほど掛かるということでありますので、早ければ7月中旬以降、8月上旬、住民説明会と言いますか、報告会、全体的な基本設計も含めた報告が早ければできるのではないかと思います。それまでには、全体的な今申し上げました南側の駐車場に2階建というのが、ある程度具体的になっているのではないかと思います。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） 8月上旬頃にとということでございますが、この間にも今、課長からも出ましたように、いろいろな考え方や意見が出てきています。そういった中で研究委員会、そしてまた役場当局で方向性を示して、町民合意を図って、50年、あるいはそれ以上の一大事業として庁舎建設を位置付けて進めていくべきではないかと思いますが、大いに町民の意見、そして考え方を出していただいて、吸収して、合意の上で造っていくといったこと考え方はどうでしょうか。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） 私、昨日も申し上げているとおり、そういう方向で進めたいと思っています

す。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） それで、今後の予定をお聞きしようと思ったわけですが、8月上旬頃に報告会を行うというところがございます。そして、予算的にも当初予算にも入っていることでありますから、着実に進めていただきたいと思います。

次に質問に入ります。リゾートスキー場の完全民営化、売却についてであります。この点は、リゾートスキー場の歴史、そしてまた経緯の中での課題と問題点に決着を図るために取り組まれていると認識しております。それはスキー場への財政支援はしない、できないとし、併せてスキー場は存続させていくということだと思っております。そういう点からの取組状況をお聞きし、着実に進めていただきたいと思いますところではありますが、3月議会では、売却に向けて全力を尽くす、そしてまた公募後7月頃には正式契約、10月頃に引渡しという段取りを報告されておりましたが、取組の状況をお伺いたします。

○議長（清水満） 土屋産業観光課長。

〔産業観光課長 土屋龍彦 登壇〕

○産業観光課長（土屋龍彦） それではお答えいたします。いづなりリゾートスキー場及び飯綱高原ゴルフコースの売却に関わる公募については、最速で今月中旬から今月末まで受け付ける予定であります。

7月上旬には審査会を行い、応募者のプレゼンテーションを行い、企画提案の内容、事業の実施能力等を審査委員会が評価、採点し、総評価点が最高点のものを契約候補者といたします。また、この審査結果につきましては、町ホームページで公開をしております。

町と契約候補者の仮契約の締結につきましては、7月中旬頃を予定し、その後、議会の議決を得て本契約といたします。契約代金の全額の納入があった時、当該物件を買受人に引き渡すこととなります。引渡しの時期につきましては、いづなりリゾートスキー場については、災害復旧工事の進行後、概ね本年11月初旬を予定し、飯綱高原ゴルフコースにつきましては、シーズン終了後、概ね来年1月を予定しております。

いずれにしても、新しい事業者の営業に支障が出ないように、着実に進めてまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） 今、全体的な進め方を説明いただきました。この件につきましては、非常に町民の関心の高いことでもあり、そしてまた長年の懸案事項でありました。その懸案事項がここで決着が図られるという状況に来ておりますもので、是非、今のスケジュールに沿いながら、完全に民営化、そして売却に向けて取り組んでいただけたらと思うわけであります。

そういう点で、スキー場の今後と町の方針を、町民、また特にスキー場関係者や地元観光関係者、ペンション関係者などにも説明し、合意を図っていくことが大事と考えますが、その辺の考え方もお聞きしたいと思います。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） この件についても、昨日詳しくご報告を申し上げさせていただいておりますので、重複する分については答弁を省略させていただきますけれども、概ね議会の皆さんも今回の方向というものは、1番願っていた方向に進んでいるという認識を持っておられると私は信じているわけですが、地域の皆さんもスキー場が存続していくという大きな前提の中で、今回のこの取組が本当に成功して欲しいと思っている方がほとんどであると認識しております。町が、それをやめて直営で乗り出せという意見は、ほとんどの方がそれは無理だろうという判断でいらっしゃるのではないかと考えています。

いずれにしても、この件についても1つの方向が定まった時点で、こんな方向でスキー場を維持していくという皆さんへの説明は必要だと思っています。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） 峯村町政がこの問題についてここで解決をし、そしてまた課題の決着にこぎ着けたとすれば、非常に町民の期待にも沿うことでありますし、是非、着実に進めていただくように求めておきたいと思っております。

それでは、次に子どもたちの登下校の安全対策についてお伺いいたします。隣の新潟県の新潟市で、児童が下校時に誘拐、殺害され、線路に遺棄されるという痛ましい凶悪事件が発生しました。こうした事件は2度と起きてはならないし、起こしてはならないわけですが、同様の事件が後を絶たないわけであります。

子どもは地域、あるいは町にとっての宝であります。こうした事件を教訓に、我が町ではどのような考えと体制をとっているのかお伺いしたいと思います。町長並びに教育長。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） 本件については、あの事件が起きた時に自分の子ども、孫に置き換えてみると、極めて何とも言いようのない非常に嫌な事件だと認識をしておりました。

従いまして、教育長にも、通学路のもう1回安全対策を考えようではないか、チェックしようではないかという話を申し上げて、今、鋭意取り組んでもらっているところでございます。これから秋口になりますと、早く夕暮れで暗くなり、バスから降りて、あっという間の僅か20メートル、30メートルの間に誰かに連れていかれてしまうというのが、もう不思議ではないようなところもありますもので、必要によっては防犯カメラとか、総務課の防犯対策と併せていろいろな取組をしていこうと、そんな話を今進めているところでございますが、瀧野議員からありました見守り隊というような、そういう協力もいろいろ考えておられることだと思っています。私どもはそのような感じで取り組んでおります。

○議長（清水満） 馬島教育長。

〔教育長 馬島敦子 登壇〕

○教育長（馬島敦子） お答え申し上げます。町長が申し上げたとおりでございますけれども、先ほど瀧野議員からのご質問とも関連しますが、今、飯綱町では子ども安全見守り隊ということで、地域の住民に呼び掛けて見守り隊の会員を募集しております。

具体的には、登録していただくと安全見守り隊という蛍光の入ったたすきをお渡しして、安全のために見守り隊の方の保険も掛けたりして、具体的に動いていただいています。それ以外

としても、先ほども言いましたように家の前とか、田んぼや畑で働いている時にも、子どもに声を掛けていただくということをやっていきたいと思っています。

議員がおっしゃたように、またかと思うような心が塞がる、胸が潰れるような事件が相次いでいるわけですが、やはりその背景には、地域のコミュニティが分断されていると言いますか、地域のコミュニティ、組織力が失われていると言いますか、田舎だから大丈夫だろうと思うと、田舎だからといって安心はできないと思います。

数少ない子どもを地域全体で見守っていくという観点からも、地域の力、コミュニティ力を高めていく働き掛けを教育委員会も積極的にやりたいと思っていますが、あと具体的な対策については次長から申し上げます。

○議長（清水満） 桜井教育次長。

〔教育次長 桜井俊次 登壇〕

○教育次長（桜井俊次） お答え申し上げます。具体的な体制でございますけれども、町長、教育長が申し上げたとおり、見守り隊の募集をこれからまた積極的に掛けまして、先ほどのコミュニティスクールではございませんけれども、できるだけ子どもたちを地域で育てていく、見守っていくという立場から、地域の皆さんにご協力をいただければと考えております。先ほど申しましたとおり、見守り隊の数でございますが、牟礼地区で10名、三水地区で5名ということで、まだまだ各地区にはございません。

また、統合しまして、旧牟礼西小学校と旧第二小学校につきましてはスクールバスで通っておりますので、その間は大丈夫ですが、町長答弁したとおり、降りてからの間、秋口から春にかけて日が短くなってきますので、やはり暗かったりとか、これらに関しまして、停留所のところに防犯灯の設置も必要になってこようかと考えておりますので、停留所を全て回ってみまして、防犯灯が必要なところがあるかどうかを確認してまいりたいと思っております。

また、先ほど申しましたとおり安心の家が55軒町内にはございますので、もう1度、安心の家の皆さんに周知をさせていただきまして、併せて見守り活動もできないかということも含めて、体制をとっていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） 防犯灯の設置、また見守り隊員の募集等ということで、私も見守り隊員のやはり確保と言いますか、役割も非常に大事だと思います。現在15人ぐらいだといったところであります。私も見守り隊員になっておられる方にお聞きしましたところ、やはりだんだんに高齢化してくるわけです。ですから、若い時のように割とずくも出なかつたり、それからどうしても歳を取ると自分の体を見守るほうが大事になってきたりして、そういう点で手が回らないといったことも聞かれますもので、大いに再募集して、そしてまた通学の路線ごとに確保し見守り隊員を配置するとか、そういうきめ細かなことが大事じゃないかと思うわけです。

こうした事件が起きるたびに、こうした平和な町でとても考えられなかったと、そういうようなことで、もう2度と起こしたくないということの1つにそういったことがあるわけです。ですから、そういった点を踏まえて、見守り隊員、そして以前のように桃太郎旗ですか、旗を各家庭に立てて、うちが見守り隊だよ、安心の家だよという表示しながら示していくということもやっていたようではございますけれども、今、旗も破れて劣化してしまったもので、もう出さないということもお聞きしました。ですから、そういったことも有効な手立てだと思いますもので、また再配置するとか、そういったこともやっていくべきではないかと思います。

それと今、子どもたちに聞きますと防犯ベルですか、あれを貸与したり付けさせるようにしていますよね。私はと思いますが、防犯ベルの貸与をして付けてもらうのはいいわけですが、実際にとっさの場合にそれを使用できるような実施訓練など、ベルに馴染んで自分の身を守ることを常に心掛けることで、防犯ベルを持っていることに対しても再認識させるような、そういう指導とかも大事ではないかと思うわけですが、その辺の考え方をお聞きしたいということです。

○議長（清水満） 馬島教育長。

〔教育長 馬島敦子 登壇〕

○教育長（馬島敦子） ご質問にお答えします。見守り隊のことについてはですけども、例えば、確かに私も地区の会議に出た時に、老人クラブの方が、「俺たちもかつては長いこと街頭に立っ

てやっていたけれども、見守ってもらう立場になってできなくなった」という声も実際にはお聞きしました。

けれども、中には実際に今、毎朝毎朝、校門に立って、見守ってくださる方の中には、現在のお子さんのお父さんやお母さんの時代から、ずっと見守りをしてくださっている方も見えます。本当にそうやって地域の方に支えられています。

そういう中で、先ほども言いましたけれど、例えば瀧野議員さんも進んで見守り隊をやってくださっていますし、本当に短い間でいいので、朝5分、10分のことなので、仕事に行く時とか、それから仕事に行く前とか、行きながらでもいいからやっていただければということ、また教育委員会でも呼び掛けていきたいと思っています。

それから、防犯ブザーについては、今日来てくださっているSBCが、小学校1年生に全部寄附して下さり本当に感謝しております。毎朝、私も子どもたちがスクールバスに乗るところを見ているわけですが、かばんの横には、ろくちゃんホーのブザーをぶら下げて、子どもたちが「行ってきます」、「おはようございます」と言い、私は「ろくちゃんホーよし」、「傘よし」と言ってみ送っております。そういう中で本当にそれがアクセサリで終わって、実際に使う場面がないということを祈ってはいるわけですが、今言われたように、とっさの時にどうしていいかわからないということのないように、訓練や練習は学校にも諮って、いざという時に役に立つようなことは進めていきたいと思っております。良いご提案をありがとうございました。

桃太郎旗の件ですけれども、申し訳ありません、私自身がそのことをよく存じ上げなくて大変失礼ですけれども、それについては次長から申し上げます。

○議長（清水満） 桜井教育次長。

〔教育次長 桜井俊次 登壇〕

○教育次長（桜井俊次） お答え申し上げます。確かに安心の家を募った時に桃太郎旗をお渡ししまして、玄関口に掲げていただいたという記憶がございます。

おっしゃるとおり、少し古くなってきたと言いますか、55軒の皆さんにもう1度確認をさせ

ていただきながら、今後また目印となるようなことを考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） 安全安心な登下校のために予防体制と見守り活動を強化していくことが重要だと思ひます。

先ほども少し言ひましたが、見守り隊員になることは、誰もがきつと呼び掛けられれば、自発的も含めて非常に好意的にやってもらえと思ひます。それで、やはり呼び掛けてそういう立場になつてもらう。これはなかなか呼び掛けてもらわないと、何か自分の意思で進んで参加する気持ちがあつても、なかなか行動にできないと思ひます。地域の人全員が見守り隊員であるような意識を持つてもらう。農作業にしてもそうだということもありましたが、そういう呼び掛けをして、そういう意識に立つてもらうことが大事ではないかと思ひます。委嘱状にかかわらず、その意識を持つてもらうといったことに是非取り組んでもらいながら、強化していくことが重要ではないかと思ひます。

そして、こうした痛ましい事故や事件が、この飯綱地区からは絶対に出さないような、そういう思いを込めて今後に取り組んでいただきたいと思ひます。その点についてはどうでしょうか。

○議長（清水満） 馬島教育長。

〔教育長 馬島敦子 登壇〕

○教育長（馬島敦子） おっしゃるとおりで、教育委員会の使命はとにかく子どもが1番大事です。子どものために何をするか、子どものために何が必要か、その軸をぶらすことのないようにこれからも努力してまいりたいと思ひます。また、議員各位におかれましても、是非協力をお願いいたします。以上です。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） では3点目に、町長の政治姿勢についてお伺ひいたします。

今の安倍政権は、国政の私物化、そして森友、加計学園疑惑問題、公文書改ざん、隠蔽、ま

たセクハラ問題などで重大な問題を引き起こし、このような悪質行為を引き起こした政権は歴史上初めてだと言われております。多くの主権者である国民からも批判が出ております。議会改革を進め、今、全国から注目されている自治体の代表者として、その長としてのこの一連の政治に対する見解を町長にお聞きしたいと思います。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） 今までの政権の中で非常に残念な政権だということでしたけれども、過去にはもっと国民に無理を強いた、切ない政権の時代もあったと私は思っております。

今回の今お尋ねの森友問題、加計問題、また財務省、文科省等々の云々、国会議員、全国的に見れば、知事も、市長も、市会議員も諸々の話が出ている中、私はそれに対してコメントする立場にはないと思っています。

私が今、一生懸命に飯綱町の長として取り組みたいのは、住民の皆さんの信頼を得て、急務だと思われる人口増対策とか、少子化対策、そしてスキー場問題に全力でぶつかるのが今の私の仕事だと思っています。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） 時事通信が、この5月11日から14日に行った5月の世論調査結果によりますと、加計学園問題で安倍首相に責任があるといった答えが65パーセントだったということが発表、報道されております。

地方行政の長として、真相を明らかにして2度と繰り返さないためにも責任の所在を認め、責任を取るように声を上げていくべきではないかと思うわけではありますが、この辺についての考え方をお伺いしたいと思います。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） これは正しく、明確ないわゆる法律に違反するような行為があったとか、そういうのであれば司法当局が乗り出して徹底的にやってもらえればいいことなので、先ほど

申しましたとおり、私は今、地方自治体の長として、明らかに国の機関が国民の意思を 100 パーセント無視するようなかたちで何かをしようとするものについては、これは地方自治体の長として、住民を守るという立場から一定の行動を起こすことが必要だと思っていますけれど、今回のことについては、それぞれの部署でしっかりとしたけじめを付けてもらいたいと思います。まずはそれが最初だろうと思います。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12 番（渡邊千賀雄） 多くの国民もけじめを付け、そしてまた真相を明らかにしながら公文書改ざん、そしてまた隠蔽などの地方行政にとっても絶対やってはならないようなことを国政でやったことに対して、我々も一地方行政に携わる者として、本当に看過できない内容だと思うわけです。そういう点で、今後とも我々も主権者でありながら、こういう行政に携わる一員として、こういったことに対して声を上げながら、そしてまた今の政治を正すためにも取り組んでいきたい、声を上げていきたい、そう思うわけではありますが、町長も是非、そういう立場で取り組んでいただきたい。そのことを申し述べて、私の質問を終わります。

○議長（清水満） 渡邊千賀雄議員、ご苦勞様でした。

暫時休憩に入ります。再開は 10 時 50 分とします。

休憩 午前 10 時 37 分

再開 午前 10 時 50 分

---

◇ 伊 藤 まゆみ

○議長（清水満） それでは休憩前に引き続き会議を再開します。一般質問を続けます。

発言順位 8 番、議席番号 9 番、伊藤まゆみ議員を指名します。伊藤まゆみ議員。

〔9 番 伊藤まゆみ 登壇〕

○9 番（伊藤まゆみ） 議席番号 9 番、伊藤まゆみです。通告に従いまして順次質問をいたします。

まず第 1 点目、長野広域連合焼却場稼働に伴う課題への対応はということでお聞きしてまい